



講義録レポート

講義録コード

00-4-30-101-01

講 座	簿記検定講座	科目①	商業簿記
		科目②	
コース	3級コース	回 数	1 回
用 途	☒ 個別DVD ☐ 集合DVD ☒ WEB通信 ☐ DL通信 ☒ DVD通信 ☐ 資料通信		

講師名	湊 純子 先生	内 訳	板書 枚数 5 枚 ※レポート 補助レジュメ 枚数 13 枚 その他 () 3 枚
-----	---------	-----	---

授業構成	前半 65 分 → 休憩 10 分 → 後半 90 分		
実施テスト	有 ・ ☒ 無		
対応テスト	<ミニテスト>	ミニテスト	第 回
	<答練・演習>		
使用教材	●合格テキスト テーマ1 ~ テーマ3 (「いろいろな帳簿」まで) ●合格トレーニング 3-2 ●その他 [] P. ~ P.		
配布教材	●教材(テキスト・問題集) () ●補助レジュメ () 枚 ●その他 (勘定科目一覧表・学習進度表・ご案内) 各1枚		講義録添付 (有) (無) 講義録添付 (有) (無)
備考	※補助レジュメ5ページの解説(講義前半45分)の黒板の記載が誤っておりますが、正しくは講義録2枚目をご確認ください。 *DVD受講生の方へ* 正確な講義時間につきましては、DVDケースの背表紙下に記載されていますので適宜ご確認ください。 (例) ①51 記載の場合、前半講義 51分 (答練・演習の場合は、解説もしくは事前講義 51分を表します) ~DVD・Web受講生各位~ 黒板を写すカメラのスイッチング(切替)は講師が行っている都合上、映像中に一部講師が画面に写らない場合もございますが、故障ではありません。音声及び本講義録をご参照の上ご受講ください。受講生の皆様にはご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。		

簿記検定講義録

科目

商業簿記

コース

3級

回数

1

配布物

★ミニテスト：あり []

なし

★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説

講師

三 奏

先生

★実力テスト：あり []

なし

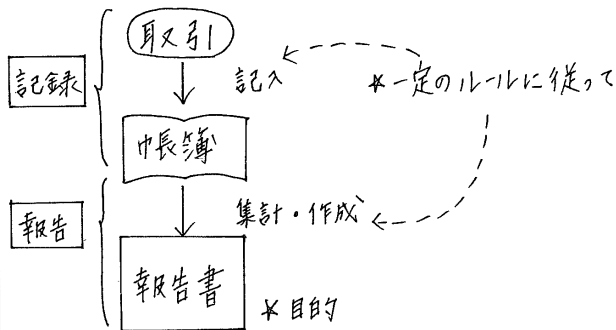
★その他のレジュメ []

◇配布物なし

テキスト
ページ

黒 板 内 容

① 簿記とは



② 貸借対照表

貸借対照表 (B/S)

もっている ものや 権利	資産	負債	義務 (= 借金)
	現金	借入金	
	建物		
	貸付金	純資産	元手 + もりけ
		資本金	

簿記検定講義録

科目

商業簿記

コース

3級

回数

1

配布物

★ミニテスト：あり [] なし
 ★実力テスト：あり [] なし
 ◇配布物なし

★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説
 ★その他のレジュメ []

講師

三泰

先生

テキスト
ページ

黒板内容

貸借対照表

資産		負債	
現金	650	借入金	800
商品	700		
建物	450		
		純資産	
		資本金 1,000	
合計	1,800	合計	1,800

一致

貸借対照表

資産		負債	
現金	1,210	借入金	600
商品	100		
建物	450		
		純資産	
		資本金 1,160	
合計	1,760	合計	1,760

一致

◎ 経営成績

損益計算書 (P/L)
(期首から期末)

一定期間

5要素

～基礎科目
 何に費や
 したのか

費用	収益
仕入	売上
交通費	受取家賃
給料	受取利息
当期末純利益	

どうやって
 稼いだのか

費用	収益
	当期末純損失

簿記検定講義録

科目

商業簿記

コース

3級

回数

/

配布物

★ミニテスト：あり []

なし

★答

練：問題用紙・解答用紙・解答解説

講師

湊

先生

★実力テスト：あり []

なし

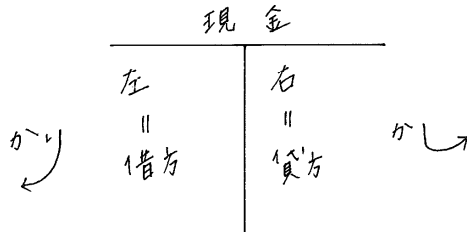
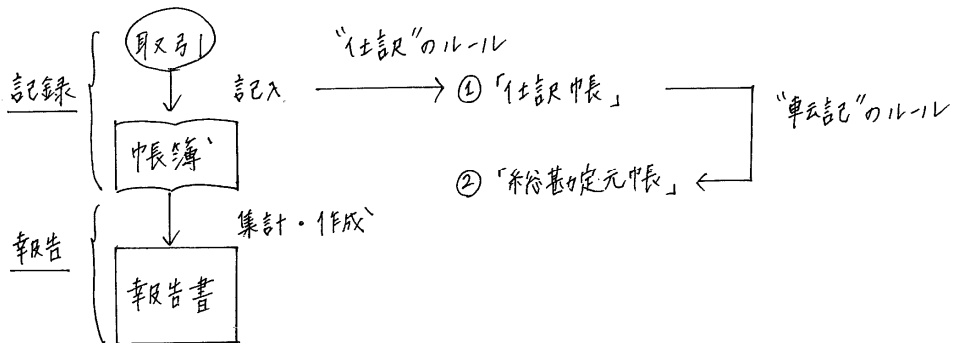
★その他のレジュメ []

◇配布物なし

テキスト
ページ

黒板内容

① 簿記とは



先生

簿記検定講義録

科目

商業簿記

コース

3年次

回数

/

配布物

★ミニテスト：あり [] なし
 ★実力テスト：あり [] なし
 ◇配布物なし

★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説
 ★その他のレジュメ []

講師

三泰

先生

テキスト
ページ

黒板内容

手順1：現金（資産）

支払利息（費用）

支払家賃（費用）

手順2：減少

増加

手順3：貸方（右）

借方（左）

（借方科目）	（金額）	（貸方科目）	（金額）
支払利息	10	現金	130
支払家賃	120		

一致

仕訳帳中長

（借方科目）

（金額）

（貸方科目）

（金額）

4/1 現金

1,000

資本金

1,000

※貸元帳中長

現金	
4/1 資本金	1,000
日付	相手勘定科目

資本金	
4/1 現金	1,000
日付	相手勘定科目

4/25 支払家賃
支払利息

120

10

現金

130

現金	
4/25 諸口	130
日付	相手勘定科目

借方合計

1,200

現金

4/1 資本金	1,000	4/15 借入金	50	貸方合計 180
10 借入金	200	25 諸口	130	

借方残高

1,020

第 1 回

☆ 簿記とは、何か

☆ 簿記の基礎

☆ 日常の手続き

- ・ 仕訳

- ・ 転記

- ・ いろいろな帳簿

・・・はじめに・・・

☆ 授業について

- ・3 級は、全 10 回とも、すべて簿記を学習する上で必要な授業となります。
- 段階的に授業が進んでいきますので、必ず授業は順番通りに受けるようにして下さい。
- (× → 第 1 回 第 3 回 第 2 回 …)

- ・各授業の始めにレジュメをお配りします。

こちらには、板書の一部やテキストの設例・解答用紙を記載しています。
簿記は、とにかく手を動かすことで覚えることが出来ますので、設例を確認しながら、記入をし、
基本的なことは授業中に覚えて帰ってしまいましょう。

☆ 復習について

- ・まずは、テキストの内容を確認して、仕訳例・基本例題・設例を解きなおして下さい。
- ・合格トレーニングを使って、何度も繰り返し解き、理解できるまで解くようにして下さい。
- ※このとき、解答用紙には書き込みをせず、ノートを用意し、あるいは、コピーを取り、何度も解くようにしましょう。(解答用紙のダウンロードサービスもありますので、是非活用して下さい)

☆ ミニテストについて

- ・前回の授業について理解度をチェックするため、授業中にミニテストを行います。
- 満点を取れるよう頑張りましょう。
- ・ミニテストの問題は、本試験でも問われる良い問題ばかりになっていますので、大切に保管して復習に役立て下さいね。

☆ 次回以降

- ・電卓をお持ち下さい。

★初めは誰もが初心者です。焦らずにとにかく問題を繰り返し解いて、簿記になれるようにして下さいね。簿記はとても面白いので、楽しみながら学習を進めていってください！

◎ 簿 記 とは

① 会社や商店が行った活動を一定のルールに従って、帳 簿に記入する。

② 報告書を作成

年に一度、帳簿の記録に基づいて**報告書**を作成します。

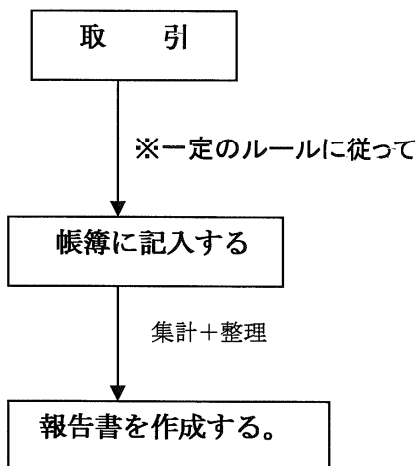
※作成された報告書は、利害関係者に役立つ情報として提供します。

◎簿記の目的

(1)「貸 借対照表(B/S)」の作成 … 財産の状態を明らかにする

(2)「損 益計算書(P/L)」の作成 … 経営成績を明らかにする

■ ま と め ■



★取引とは … 商品を販売した。銀行から現金を借り入れた。など、商店の活動を指します。

◎ 簿記の5要素 / 財務諸表

・貸借対照表 (Balance Sheet : B/S)

※期末時点の財政状態を明らかにした報告書

貸借対照表

現金	借入金
貸付金	買掛金
売掛金	支払手形
備品	
車両運搬具	
建物	資本金
土地	

★純資産等式 … 資産の総額 － 負債の総額 ＝ 純資産の総額

資産		負債	
			純資産

<設例>

期首(×1年1月1日)と期末(×1年12月31日)における財産に基づいて、各時点における貸借対照表を作成しなさい。

[期首における財産]

現金 650 円 商品 700 円 建物 450 円 借入金 800 円 資本金 1,000 円

[期末における財産]

現金 1,210 円 商品 100 円 建物 450 円 借入金 600 円 資本金()円

解答欄

貸 借 対 照 表
×1年1月1日

()	()
現金	借入金
商品	()
建物	資本金
合計	合計

貸 借 対 照 表
×1年12月31日

()	()
現金	借入金
商品	()
建物	資本金
合計	合計

※期末の貸借対照表からは、当期に純資産が増加したことが読み取れます。

しかし、これが当期のどのような原因によって生じたものなのかということまでは読み取ることができません。

そこで、この原因を示すために、損益計算書を作成します。

・損益計算書 (Profit and Loss Statement :P / L)

※一会計期間の経営成績を明らかにした報告書

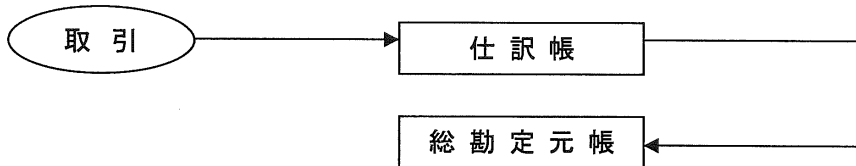
損益計算書

仕 入 給 料 交 通 費 支 払 家 賃 支 払 手 数 料 支 払 利 息	売 上 受 取 家 賃 受 取 手 数 料 受 取 利 息

損益計算書

費用	収益
仕 入 給 料 交 通 費 支 払 家 賃 支 払 手 数 料 支 払 利 息	売 上 受 取 家 賃 受 取 手 数 料 受 取 利 息

記 録



◎仕 訳

取引が発生するたびに、その取引を**借方**、**貸方** 2つに分けて**仕訳帳**に記録をする一連の手続き

手順1: (勘定科目)と5要素の決定

取引の内容から、勘定科目を決める。

※2つ以上の勘定科目

手順2: 増減の判断

手順1で決めた勘定科目が、増加したのか減少したのかを判断する。

手順3: 借方・貸方への記入

◎ 勘定記入の法則

増えれば、定位置 (財務諸表の)
減れば、逆 に記入

手順4: 金額の決定

◎勘定記入の法則

資 産		負 債		純資産	
+	-	-	+	-	+

★資産は増えれば+左(借方) ★負債は増えれば+右(貸方) ★純資産は増えれば+右(貸方)

費 用		収 益	
+	-	-	+

★費用は増えれば+左(借方)

★収益は増えれば+右(貸方)

貸借対照表

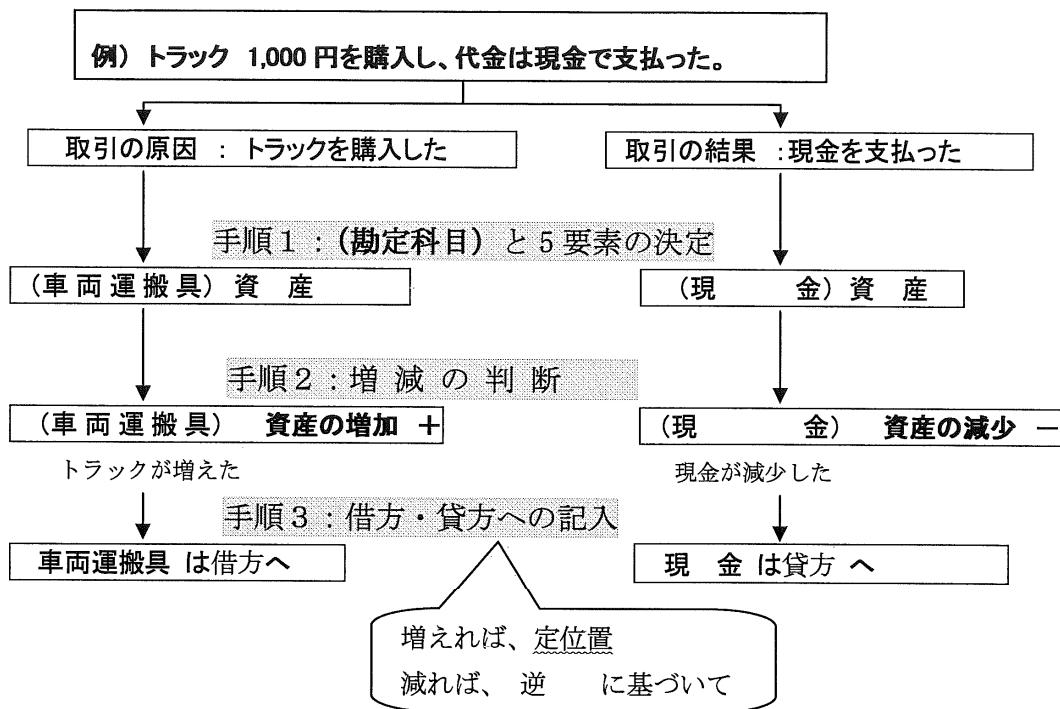
資 産	負 債
	純資産

損益計算書

費 用	収 益

★増えれば、報告書の定位置 に記入

★減れば、逆 に記入



手順4 : 金額の決定

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
車 両 運 搬 具	1,000	現 金	1,000

※必ず、貸借(左右)金額は、一致する

=== 5 要素の定位置 ===			
貸借対照表		損益計算書	
資 産	負 債	費 用	収 益
	純資産		
左(借方)	右(貸方)	左(借方)	右(貸方)

【基本例題3】

4/1 現金 1,000 円を元入れして開業した。

① 勘定科目と5要素の決定

現金 (資産)	資本金 (純資産)
---------	-----------

② 増減の判断 現金 (資産) → 増加 資本金 (純資産) → 増加

③ 借方・貸方の記入 ※増えれば定位置、減れば逆 に基づいて

資産の定位置 → () 純資産の定位置 → ()

④ 金額の決定

(借方科目)	(金額)	(貸方科目)	(金額)
--------	------	--------	------

本試験やミニテストの解答用紙は、このように
“借方科目”や“貸方科目”と表記されています。

4/10 現金 200 円を銀行から借り入れた

① 勘定科目と5要素の決定 【 現金 (資産) 借入金 (負債) 】

② 増減の判断 【 現金 (資産) 借入金 (負債) 】

③借方・貸方の記入 ④金額の決定

(借方科目)	(金額)	(貸方科目)	(金額)
--------	------	--------	------

4/15 借入金 50 円を現金で返済した。

① 勘定科目と5要素の決定 【 現金 (資産) 借入金 (負債) 】

② 増減の判断 【 現金 (資産) 借入金 (負債) 】

② 借方・貸方の記入 金額の決定

(借方科目)	(金額)	(貸方科目)	(金額)
--------	------	--------	------

【設例 2-4】

4/25 家賃 120 円と利息 10 円を現金で支払った。

- ① 勘定科目と5要素の決定 【 現 金(資 産) , 支払家賃(費 用) , 支払利息(費 用) 】
② 増減の判断 【 現 金(資 産) , 支払家賃(費 用) , 支払利息(費 用) 】
③ 借方・貸方の記入 ④金額の決定

(借 方 科 目)	(金 額)	(貸 方 科 目)	(金 額)

まずは、現 金(資産)を基準にして、仕訳を行うと速くできます。

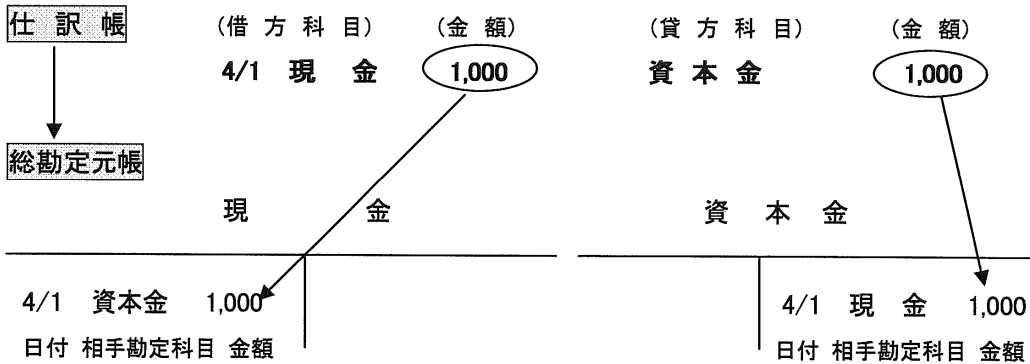
・現金が増加した(入金)→ 借方:現金 貸方:

・現金が減少した(出金)→ 借方: 貸方:現金

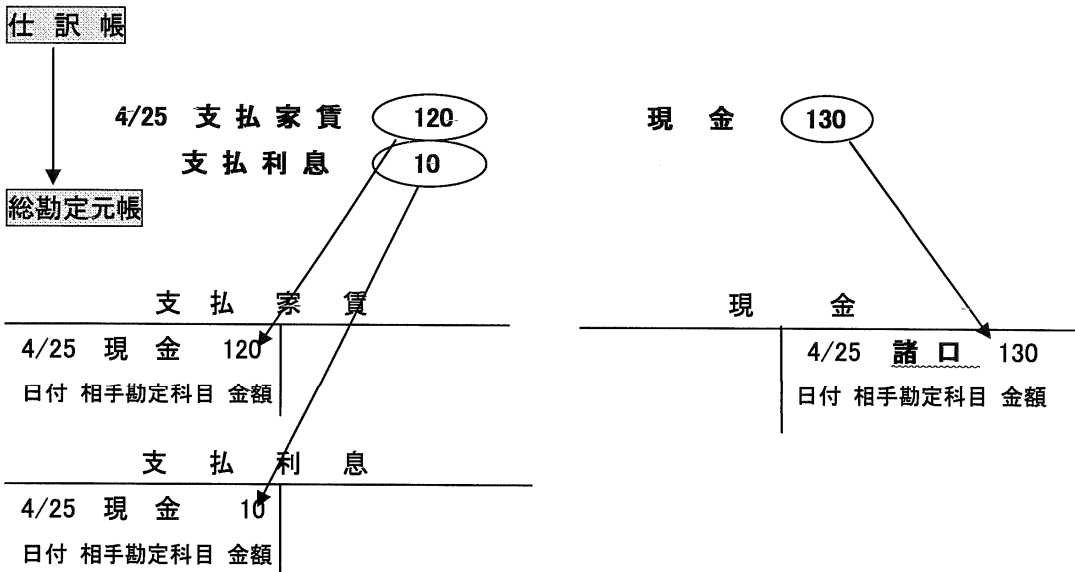
※ 仕訳は、必ず借方(左)より記入する必要はありませんので、
分りやすいほうから、記入をし、後は片方の勘定科目を考えましょう。

◎転記のルール

(1) 原則



(2) 例外—相手勘定が複数あるとき—



左は左、右は右、あとは日付と相手勘定科目

金額の転記の仕方

このフレーズで、転記を覚えましょう！

◎合計 とは

左(借方) 右(貸方) それぞれ、足し算をし、合計したもの。

		現金						
借方合計 1,200	{	4/1	資本金	1,000	4/15	借入金	50	貸方合計 180
		10	借入金	200	25	諸口	130	

◎残高 とは

左(借方)の合計金額と右(貸方)の合計金額を差し引いた金額

現金							
借方合計 (1,200)	4/1	資本金	1,000	4/15	借入金	50	貸方合計 (180)
	10	借入金	200	25	諸口	130	
			借方残高		1,020		

★ トレーニングの範囲

テーマ 1 ～テーマ 3 (3-4 まで)

各問題番号の横についている ★マークは、問題の重要度をあらわします。

「★★★」や「発展★★★」のものは、本試験までに余裕があれば、一度は目を通しておく程度で良いです。まずは、「★★★」「★★★」を優先的に繰り返し練習して下さい。

★初めての簿記いかがでしたか？ 本日の内容で重要なところは、

「報告書の形式(簿記の 5 要素)」

「仕訳のルール」

「転記のルール」

この 3 点です。テキストを使ってこの 3 つの点を重点的に復習してくださいね。

勘定科目(3級)一覧表

貸借対照表項目			貸借対照表項目		
資産科目(企業が所有するもの、権利・債権)			負債科目(将来返済しなければならない債務・債務)		
現金	金	通貨(硬貨と紙幣)、通貨用証券など	支払	形	手形(代金を後日支払うべき債務)
預金	金	各金融機関の預金の支払のために、用図前に預金しておく資金	買入金	金	商品(代金後払い)で仕入れた場合に生ずる商品代金を後日支払うべき債務
銀行取掛	※	銀行への預入金額(当座預金・普通預金・定期預金など)	未入金	金	商品以外を代金後払いで購入した場合に生ずる購入代金を後日支払うべき債務
売掛	形	手形(代金を後日受取る権利)	借入金	金	金銭を銀行などから借り入れた場合に生ずる後日返済すべき債務
商売越	品	商品(代金後払い)で販売した場合に生ずる商品代金を後日受取る権利	前入金	金	金銭を借り入れ、借入証書の代わりに手形を振り出した場合の債務
繰上	品	販自目的の物品(商品)の原価、分配法で使用	当預金	金	商品を引き渡す前に現金などを受取ったとき、商品を後日引き渡さなければならぬ債務
消費	品	期末又は期首ににおける消費財商品の原価、分配法で使用	預金	越	当座預金(現金)を超える小切手の振出額
貸付	品	コピー用紙などの事務用品や包装材料などの未使用分	販売金	金	金銭を一時的に預かったときに生じる後日支払うべき債務
手形	金	金銭を取引先に貸し付け、従業員の給料を前払いしたと生ずる権利	戻入金	金	現金を受け取ったとき、相手勘定が不取な場合に使う戻入
未払	金	商品(代金後払い)で仕入れたとき、商品を後日受取る権利	商売金	金	商品券の券面額相当の商品を引き渡さなければならぬ債務
立金	金	取引先(債権)の買付に付たり、従業員の給料を前払いしたと生ずる権利	未入金	※	当期費用のうちの未払額
他店	金	商品の引き渡す前に現金などを支払ったとき、商品を後日受取る権利	前入金	※	受け取った収益のうちの翌期分前受額
仮払	金	取引先(債務)の買付に付たり、従業員の給料を前払いしたと生ずる権利	貸入金	★	将来生ずる債務の回収(引当)に対する準備額
前払	金	他の取引先(債権)に商品を貸し出したと生ずる権利	減価償却累計額	★	営業用固定資産の使用による減価償却累計、間接法で使用
未収	金	現金を支払ったとき、相手勘定が不明な場合や金額が未確定の場合に使う仮定	資本	金	純資産(資本)科目(株主・株主が出資した分およびその増加分)
建費	※	支払った費用のうちの翌期分前払額	引当金	金	正味財産額
備用	※	当期の収益のうちの未収額	引出金	金	企業主の引き出し額(3級のみ)
車	物	時価の変動による利益を得ることを目的として保有する株券、公社債などの証券類			
土	地	営業用の事務所・店舗・倉庫など			
		営業用のトラック・乗用車・オートバイなど			
		事務所・倉庫など営業用資産の敷地			
損益計算書項目			損益計算書項目		
費用科目(収益を獲得するために使ったものおよび労働力)			収益科目(ものおよび労働力を提供して得た対価)		
仕入	料	商品の仕入れ高(原価) 三分法で使用	売上	益	商品の販売高(売価)、三分法で使用
給料	費	従業員に対する給料の支払額	受取	金	商品を販売したことによるもの、分配法で使用
広告	費	新聞広告・チラシ・看板などにかかる費用の支払額	受取利息	金	銀行預金・貸付金・公社債などに対する利息の受取額
接客	費	取引先などとの接点および交際にかかる費用の支払額	受取料	金	株式に対する過当金の受取額
旅費	費	出張にかかる電車代・宿泊代などの費用の支払額及び通常の電車代・バス代などの支払額	受取地	料	手数料の受取額
光熱	費	電灯・ガス代などの支払額	受取地	料	土地の貸し付けによる地代の受取額
消遣	費	コピー用紙などの事務用品や包装材料などの使用分	受取地	料	建物の貸し付けによる家賃の受取額
光熱	費	得意先に対する商品の発送にかかる運賃などの支払額	受取地	料	有価証券を売却したことによるもの
修繕	費	建物・備品などを修理するのにかかる費用の支払額	受取地	料	営業とは無関係に生じた少額な収益
通租	費	電話代・切手・はがきなどの支払額	受取地	料	固定資産を売却したことによるもの
租税	費	印紙税・固定資産税の支払額	受取地	料	前期末前に貸借の処理をした債権の回収額
賃借	費	売掛金などの貸付による損失額	受取地	料	
貸借	費	貸借引当金の不足分についての繰入額	受取地	料	
賃借	費	営業用固定資産の使用などによる価値の減少額	受取地	料	
賃借	費	土地の賃借による地代の支払額	受取地	料	
賃借	費	建物の賃借による家賃の支払額	受取地	料	
賃借	費	借入金などに対する利子(借入)の支払額	受取地	料	
賃借	費	所有手形を繰上前に換金する(銀行)売却する際にかかる金利相当額	受取地	料	
賃借	費	手数料の支払額	受取地	料	
賃借	費	有価証券を売却することによる損失	受取地	料	
賃借	費	固定資産を売却することによる損失	受取地	料	
賃借	費	営業とは無関係に生じた少額な費用	受取地	料	
賃借	費	上記以外の費用の支払額	受取地	料	

(注) ※を付した勘定科目は、具体的な名称を付す場合が多い。★を付した勘定科目は、マイナス勘定である。

3級 学習進度表(基本講義)

3級 商業簿記

講義回	学習テーマ(商業簿記)	重要度
第1回	テーマ1 簿記の基礎知識	★
	テーマ2 日常の手続きⅠ	★★★
	テーマ3 日常の手続きⅡ(「いろいろな帳簿」まで)	★★★
第2回	テーマ3 日常の手続きⅡ(「試算表の作成」より)	★★★
	テーマ4 商品売買Ⅰ	★★★
	テーマ5 商品売買Ⅱ	★★★
第3回	テーマ6 現金	★★★
	テーマ7 当座預金	★★★
	テーマ8 小口現金	★★
第4回	テーマ9 手形Ⅰ	★★★
	テーマ10 手形Ⅱ	★★★
第5回	テーマ11 その他の期中取引Ⅰ	★★
	テーマ12 その他の期中取引Ⅱ	★★
第6回	テーマ13 その他の期中取引Ⅲ	★★★
	テーマ14 試算表の作成Ⅰ	★★★
	テーマ15 試算表の作成Ⅱ	★★★
第7回	テーマ16 決算の手続きⅠ	★★
	テーマ17 決算の手続きⅡ	★★★
第8回	テーマ18 決算の手続きⅢ	★★★
	テーマ19 決算の手続きⅣ	★★★
第9回	テーマ20 決算の手続きⅤ	★★★
第10回	テーマ21 決算の手続きⅥ	★★
	テーマ22 伝票式会計	★★

TAC 簿記検定・建設業経理士・ビジネス会計検定講座を受講の皆様

【Webお知らせ掲示板】のご案内

■Web お知らせ掲示板URL

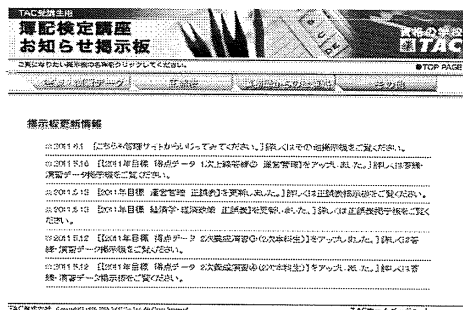
<http://boki.tac-school.co.jp/>

簿記検定・建設業経理士・ビジネス会計検定講座の本試験情報、正誤表等は
TAC ホームページ上で閲覧できます。

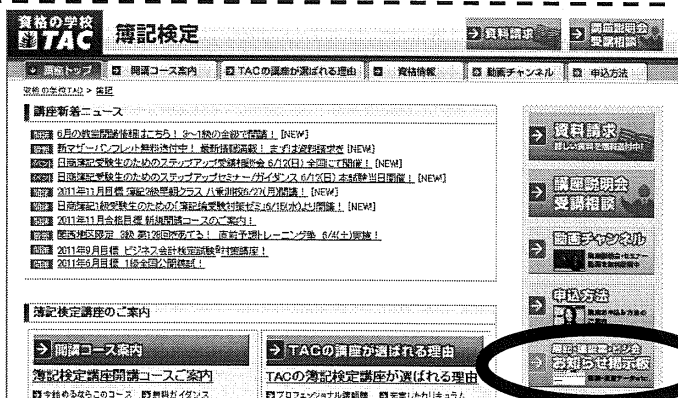
無料でどなたでもご利用いただけますので、学習にお役立てください。

★Web お知らせ掲示板のコンテンツ内容例

- ・正誤表
- ・公開模試の書替案内
- ・事務局からのお知らせなど・・・



※上記 URL より直接アクセスする
方法の他、
TAC ホームページトップ画面の
【簿記検定・建設業経理士】を
クリックし、ページの画面右に
あるリンクよりアクセスする方
法もございます。



TAC ホームページ URL <http://www.tac-school.co.jp/>